

平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月13日

上場会社名 株式会社アメイズ 上場取引所 福証  
 コード番号 6076 URL http://www.az-hotels.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴見 保雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 児玉 幸子 (TEL) 097(524)3301  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第3四半期の業績(平成26年12月1日～平成27年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	7,956	0.9	1,214	15.6	986	13.6	598	20.8
26年11月期第3四半期	7,884	14.2	1,051	△6.0	868	△13.6	496	△18.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	39.40	—
26年11月期第3四半期	32.62	—

(注) 当社は、平成26年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第3四半期	24,121	6,246	25.9
26年11月期	22,425	5,950	26.5

(参考) 自己資本 27年11月期第3四半期 6,246百万円 26年11月期 5,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	—	—	40.00	40.00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,842	1.5	1,445	15.2	1,112	11.4	662	△62.4	43.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期3Q	15,204,000株	26年11月期	15,204,000株
② 期末自己株式数	27年11月期3Q	278株	26年11月期	258株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期3Q	15,203,727株	26年11月期3Q	15,203,764株

当社は平成26年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の株式分割を行っております。

上記の株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済政策や日銀の金融緩和政策の効果等により緩やかな回復傾向は見られておりますが、ヨーロッパの政局不安や中国経済の低迷等の潜在的なリスクにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、継続的な円安効果や世界遺産登録効果等により、宿泊需要は増加しておりますが、輸入原材料価格の高騰や人材不足による人件費の上昇等により、ホテル市況の本格改善には、なお時間を要するものと思われま

す。当社においては、当第3四半期会計期間に91室タイプのHOTEL AZ宮崎日向南店、山口下松店及び福岡大川店の3店舗を新規出店し、今期の新規出店数は9店舗となりました。また、大分安心院店、石川栗津店においては、亀の井ホテルブランドからHOTEL AZブランドへ変更する為の改装に着手いたしました。館内飲食店舗においても、一部を「しゃぶしゃぶ温野菜」や「居酒屋かまどか」へ変更し、お客様の利便性の向上を図りました。このようにHOTEL AZブランドの定着及びドミナント化を推進し、集客力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は79億56百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は12億14百万円（前年同期比15.6%増）、経常利益は9億86百万円（前年同期比13.6%増）、四半期純利益は5億98百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

なお、当第3四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が60店舗（直営店57店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が5店舗であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況について

当第3四半期会計期間末における総資産は241億21百万円となり、前事業年度末と比べ16億96百万円の増加となりました。

流動資産は12億2百万円となり、前事業年度末と比べ3億14百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が6億45百万円減少し、未収法人税等が3億36百万円増加したことによるものであります。

固定資産は229億18百万円となり、前事業年度末と比べ20億10百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が19億6百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は178億74百万円となり、前事業年度末に比べ14億円の増加となりました。

流動負債は40億62百万円となり前事業年度末と比べ4億81百万円の増加となりました。これは主に短期借入金が20億円増加し、未払法人税等が11億92百万円、その他に含まれる未払消費税等が3億1百万円減少したことによるものであります。

固定負債は138億12百万円となり、前事業年度末と比べ9億18百万円の増加となりました。これは主にリース債務が14億24百万円増加し、長期借入金が5億10百万円減少したことによるものであります。

純資産は62億46百万円となり、前事業年度末に比べ2億96百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が2億94百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,163	517
売掛金	157	166
商品	4	4
原材料及び貯蔵品	39	50
未収法人税等	—	336
その他	155	130
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	1,517	1,202
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,063	9,327
土地	3,586	3,586
リース資産（純額）	6,446	7,930
その他（純額）	1,020	1,177
有形固定資産合計	20,116	22,022
無形固定資産		
141	141	125
投資その他の資産		
その他	650	770
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	650	770
固定資産合計	20,907	22,918
資産合計	22,425	24,121

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	137	159
短期借入金	100	2,100
1年内返済予定の長期借入金	669	669
リース債務	301	342
未払法人税等	1,192	—
賞与引当金	—	29
ポイント引当金	15	23
その他	1,163	738
流動負債合計	3,580	4,062
固定負債		
長期借入金	9,072	8,561
リース債務	3,568	4,993
退職給付引当金	36	40
役員退職慰労引当金	64	70
資産除去債務	137	131
その他	14	14
固定負債合計	12,893	13,812
負債合計	16,474	17,874
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	4,145	4,440
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,945	6,240
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	6
評価・換算差額等合計	4	6
純資産合計	5,950	6,246
負債純資産合計	22,425	24,121

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	7,884	7,956
売上原価	1,205	1,072
売上総利益	6,678	6,884
販売費及び一般管理費	5,627	5,669
営業利益	1,051	1,214
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	0	0
受取賃貸料	32	30
その他	2	6
営業外収益合計	38	40
営業外費用		
支払利息	219	268
その他	0	0
営業外費用合計	220	268
経常利益	868	986
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	8	6
特別損失合計	8	6
税引前四半期純利益	859	980
法人税、住民税及び事業税	354	309
法人税等調整額	9	72
法人税等合計	363	381
四半期純利益	496	598

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、報告セグメントがホテル宿泊事業一つであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。